



# あぼし ぶらり散策



感動体験 姫路まちなかあるき



# 網 干

## 網干の元々ところをご紹介します

### ようこそ あぼしまちへ

姫路市の西部に位置する網干地区は、瀬戸内海や掛保川といった自然に恵まれ、古くから漁業と海運で栄えてきました。海岸部には工業地帯が広がる一方、まちに足を踏み入れると、趣のある古いまちなみや由緒ある社寺などが立ち並んでいます。また、勇壮な提灯練りや絢爛豪華な屋台練りで知られる魚吹八幡神社の秋祭りを始め、四季を彩る祭りの数々や、味わい深い地酒など、独自の文化が長い年月を経て育まれてきました。

「あぼしまち交流館」は、平成21年にオープン。地場産品の販売のほか、朝市やフリーマーケットなど様々なイベントが開催される、「網干の魅力発信館」として活動中。運営にあたるNPO法人あぼしまちコミュニケーションでは、ボランティアガイドも活躍しています。

ようこそ網干へ！姫路城下とは一味違う「まちなかあるき」に出かけませんか！？

## 網干の 歳時記

開催日	場 所	名 称
1月9日・10日	網 干 神 社	えびすさん
1月15日(近い日)祝日	各 地 域 にて	とんど祭り
2 月 節 分	主 に 興 濱 地 域	おんど豆
2 月 1 9 日	魚 吹 八 幡 神 社	厄除祭
3月最終土曜日	魚 吹 八 幡 神 社	武神祭(鬼追い)
4月9・10(近い)土日	金 刀 比 羅 神 社	金刀比羅神社春祭り
4月3日・4日	龍 門 寺	献茶会(大茶わん)
4月第2日曜日	武 大 神 社	武大神社春祭り
4月第3日曜日	大 江 神 社	大江神社春祭り
5 月 5 日	網 干 全 域	花まつり(子供による白象引き)
5 月 5 日	浜 田 糸 び ず 神 社	糸びずさん春祭り
6月26・27・28日	三 宝 神 社(大覚寺)	ゆかたまつり
7 月 1 4 日	魚 吹 八 幡 神 社	千灯祭
7 月 1 5 日	大 江 神 社	大江神社夏祭り
7月19日・20日	網 干 神 社	糸びずさん夏祭り千灯祭
7月第3日曜日	船 渡 八 幡 神 社	千灯祭
7 月 2 4 日	三 ッ 石 天 満 宮	天神さん
7月下旬~8月上旬	各 地 域 にて	夏祭り盆踊り大会
8月9・10(近い)土日	金 刀 比 羅 神 社	金刀比羅神社夏祭り
8 月 上 旬	三 角 公 園	川祭り(花火大会)
8 月 1 5 日	掛 保 川 本 町 橋 周 辺	お精霊流し
8 月 下 旬	各 地 域 にて	地藏盆
8月第3日曜日	垣 内 公 園	垣内による火上げ(4年に1度)
8月第3日曜日	狭 間 公 園	長太郎まつり
10月21日・22日	魚 吹 八 幡 神 社	秋季大祭
10月第3土・日曜日	富 崎 神 社(対屋)	秋季大祭
11月第4日曜日	網 干 南 公 園	網干西地区ふれあいフェスティバル
通 年	あぼしまち交流館	通年を通してイベントを開催

## ～祭りどころ 歴史と文化が薫るまち～



「網干」の名の起りは魚吹八幡神社の放生会が行われる日、氏子の漁師が殺生をやめて網を干してお参りをしたことから、周辺を網干と称したことによるといわれています。古くから開発の進んだ地で、江戸時代に至ると当初は姫路藩領でしたが、のち天領・龍野藩領・丸亀藩領等に分かれるなど複雑な様相を示しました。古社・古寺も多く、文化財に富んだ地域です。



### 龍門寺と盤珪禅師

盤珪禅師が丸亀藩主京極家の保護と網干の豪商佐々木家の援助を受け、寛文元年(1681年)再興した寺で20余りの堂が並び掃磨屈指の禅宗寺院。盤珪は浜田に生まれ17才で出家、全国を修業し、難解な禅をやさしく説いた。

### 不徹寺と田捨女

龍門寺の南東にあり、元禄元年(1688年)丹波柏原生まれの田捨女(でんすてじょ)が開いた寺。捨女は6才の時の俳句「雪の朝二の字ニの字の下駄のあと」で有名。

### 交通アクセス

山陽電車で山陽姫路駅から約25分山陽網干駅下車すぐ  
JR網干駅から神姫バスで約15分山陽網干駅下車すぐ



# 歴史と文化の街 網干



**あほしまち  
交流館**  
祭りどころ歴史と文化が薫るまち  
網干のあらゆる情報、例えば神社・お寺・  
偉人等歴史と文化の情報、農産物・魚介  
物などの産物情報、網干の企業等の産業  
情報、地域の年間行事・イベント情報等、  
網干に関するあらゆる情報の発信基地  
として、網干に来たらまずあほしま  
ち交流館に来て情報を仕入れて  
網干のまちを散策して下  
さい。



**エコパークあほし**  
平成22年にオープンした「エコパークあほし」は、積極  
的なバイオマス発電を導入したごみ焼却施設や粗大ごみ  
の再資源化を行なう総合市のごみ処理施設です。  
さらに、「網干環境実習センター」は、ごみ処理過程を見  
学しながら楽しくごみ問題や環境問題を学ぶ施設です。

## ◆主な見どころ◆



**魚吹八幡神社**  
播磨国風土記には宇須伎津という古い名が記されており、この名が魚吹八幡神社として残されています。この宮の放生会が行われる日、氏子の漁師が放生をやめて網を干してお参りをしたことから、周辺を網干と称したと言われており、網干の地名の由来とされています。10月21日、22日に行われる秋季例祭風流は江戸時代の祭礼の特色をよく残す県下最大規模の祭礼で県の指定重要無形民俗文化財です。



**城跡**  
林田藩の儒学者の河野鉄兜の弟東馬が慶応4年(1868年)に設立した私塾です。東馬は勤皇の志士として蛤御門の変に参加、敗れて出石藩に捕らわれたのち、網干に帰り医業の傍ら子弟の教育にあたりました。修復され、貴重な江戸期の私塾の建物として市指定の重要文化財となっています。



**不徳寺**  
不徳寺は龍門寺の南東にあり、1688年に田捨女が開いた寺です。田捨女は水上郡柏原(かいばら)の生まれで、盤珪師の徳を慕い網干に来て、多くの弟子を教え導いたと言われています。



**ダイセル異人館**  
明治43年(1910年)、ダイセル化学工業株の前身会社が建築の際に、外国からの技術指導者を迎え、その宿舎として洋風住宅を建てました。赤屋根の建物が会社の迎賓館、緑色の建物が資料館となっており、いずれも市の都市景観重要建築物等、兵庫県住宅100選に選ばれています。なお、資料館は無料で一般に公開されています。



**大覚寺**  
余子浜村にあった釈迦堂を1233年に真言宗の光接院として改め、開かれたのが始まりと言われています。1556年に現在地に移り大覚寺と改め、浄土宗になったとされています。境内は広く、海に面していたと言われています。国の重要文化財をはじめ、県や市の重要文化財があります。



**旧網干銀行本店**  
市の都市景観重要建築物等に指定されている建物で、明治27年に現在のJR網干駅近くの高田村に創業、その後本店を現在地の橋本商店街に移転し、現在は商店になっています。